

研究だより

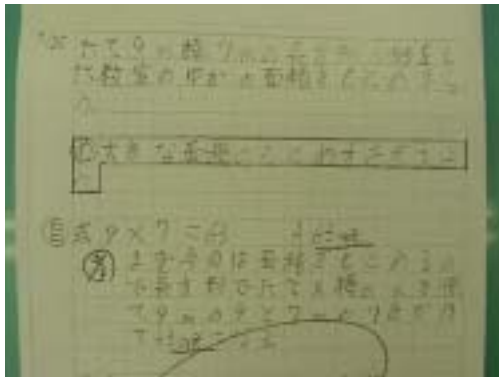
平成15年度学校教育改善研究事業(2年次)後期の研究に向けて

1 学習意欲を育てる「授業と家庭学習のリンク」の事例

4年算数単元「面積」

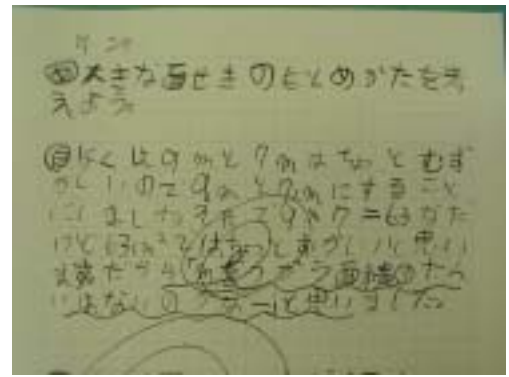
(1) 算数的活動を積極的に取り入れた問題解決的な学習の推進

既習事項を想起し、学習問題に意欲的に取り組むとともに、自分の考えをノートに書くことができる子ども。



〔既習事項の想起〕

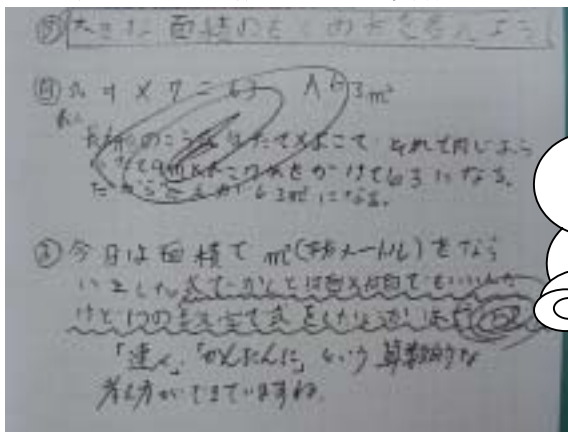
長方形の面積の公式は
たて×横だ。



mもcmの時と同じように
考えられそうだ。

個の考えを練り合い、高め合う場面では、「速く・正確に・簡潔に」という判断基準でよりよい解決の方法を見つけることができる子ども。

〔「速く・正確に・簡潔に」という数学的な思考力の育成〕

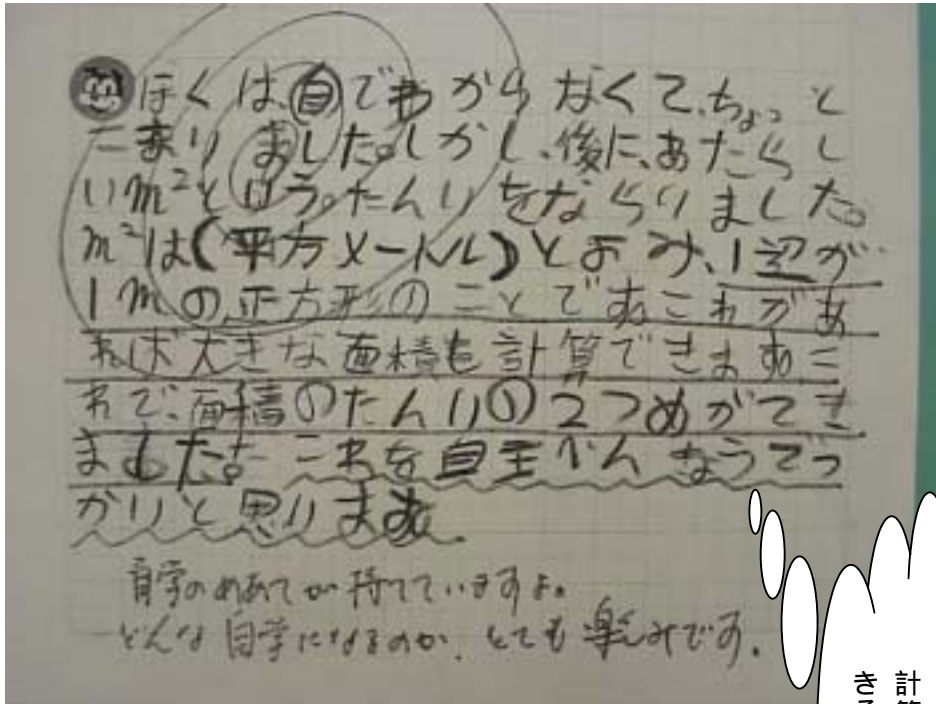


900×700で大きな数
になってしまう。
9×7をして、単位をmに
した方が簡単だ。

(2) 授業と家庭学習をつなぐ終末時の活動の工夫

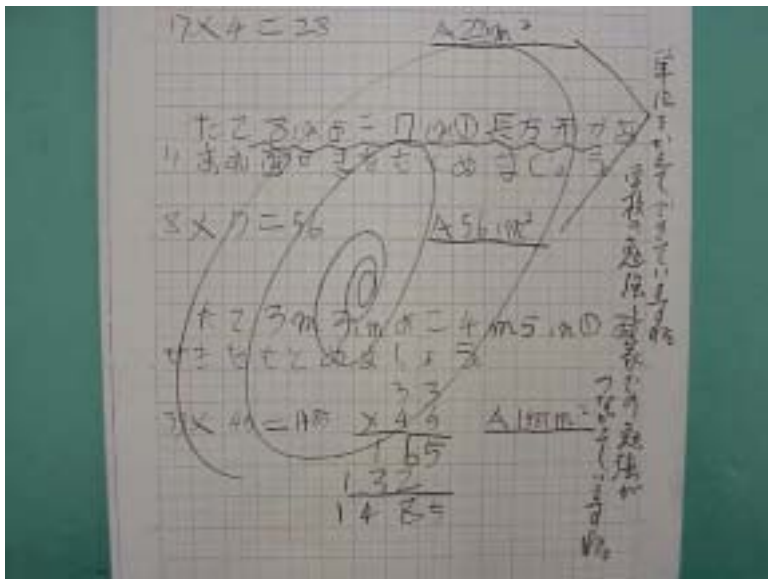
本時のまとめを自分のことばでノートに書くとともに、「今日は、こんな自学をするんだ。」という家庭学習のめあてを明確にできる子ども。

〔授業のまとめのノート〕



今日の自学は
 計算ドリルの
 ページまで
 きまらんだ。
 をこまう。

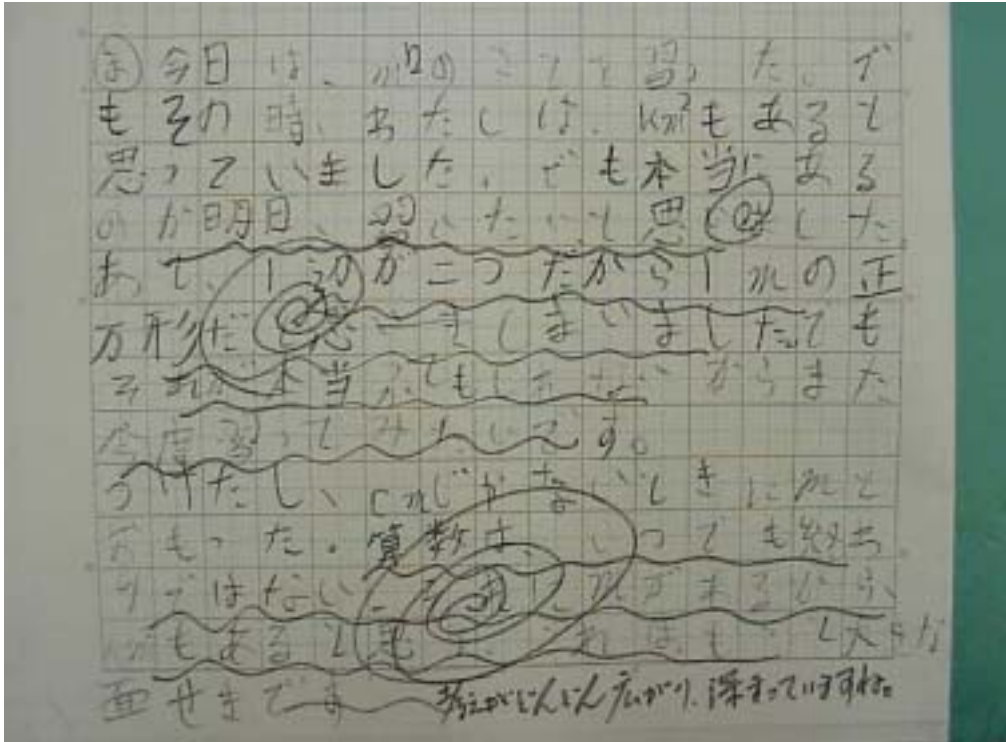
〔自学ノート〕



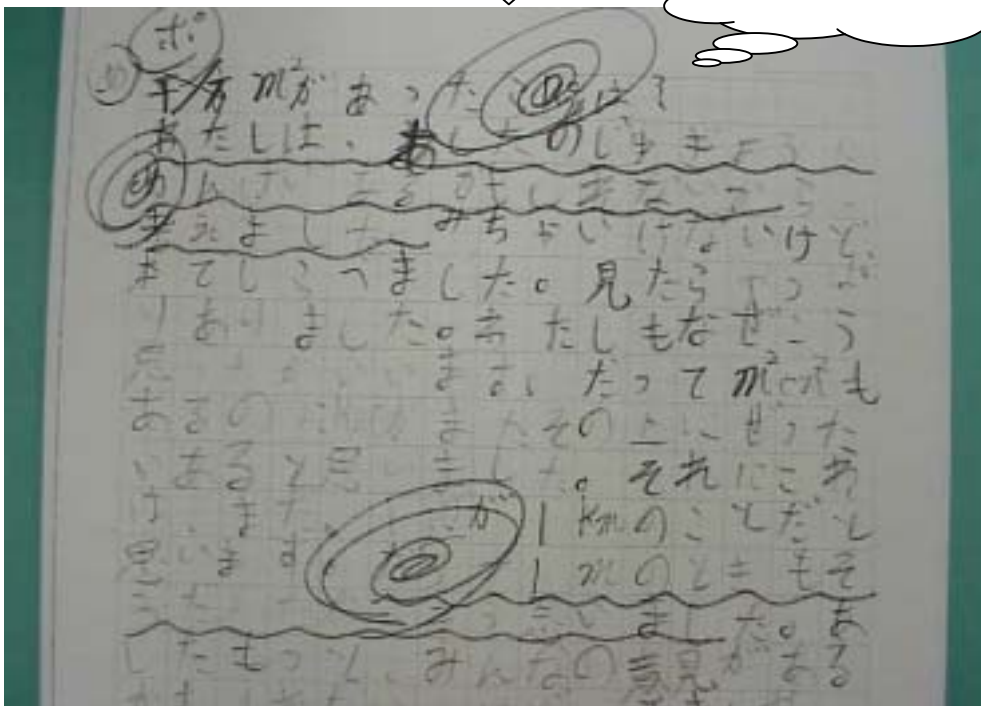
(3) 授業と家庭学習のサイクル化による自己評価能力の育成

授業のノートを開けて、家庭学習のめあてを確認し、自学をしながら学習内容の理解度を自己評価し、その内容を拡充・深化させるとともに、次の授業への意欲や期待感を持つことができる子ども。

〔授業のまとめのノート〕



〔自学ノート〕



kmもきっと同じだろう。